

(報道発表資料)

令和6年3月14日

京都市産業観光局

担当：観光MICE推進室

電話：075-746-2255

令和5年「京都観光に関する市民意識調査」の結果

京都市では、持続可能な観光の実現に向けて、市民生活と観光の調和や、観光による地域への貢献等により市民の皆様の満足度や豊かさの向上につなげるため、令和3年から「京都観光に関する市民意識調査」を実施し、京都観光に関する市民の皆様の御意見やニーズの把握に努めています。

この度、下記のとおり令和5年「京都観光に関する市民意識調査」の結果をお知らせします。

記

1 調査の概要

(1) 調査目的

市民の皆様の京都観光に関する意識や京都市の観光政策・施策の認知度等を把握し、「京都観光振興計画2025」（令和3年3月策定）の指標及び目標値として同計画の進捗管理を行うとともに、今後の観光施策を立案するための基礎資料として活用する。

(2) 調査の方法等

ア 調査対象

京都市内在住の満18歳以上の市民 5,500人（無作為抽出）

イ 調査方法

郵送による配布、郵送またはWEBフォームによる回収

ウ 調査期間

令和5年10月31日～令和5年11月27日

エ 有効回答数

2,465件（回答率44.8%）

(3) 調査結果

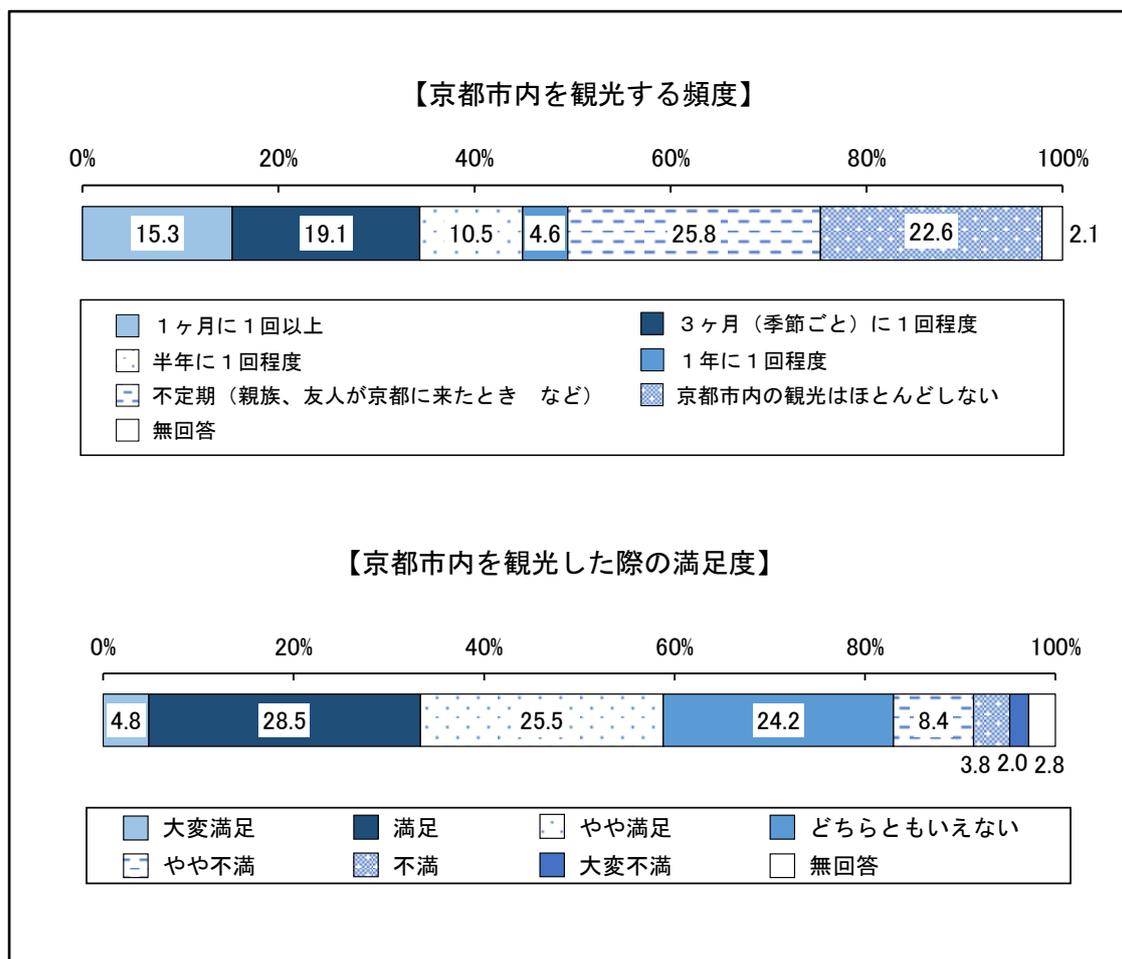
京都市公式ホームページ（京都市情報館）にて公開。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000323389.html>

2 主な調査結果のポイント

(1) 市内観光に対する意識について（問7、8）

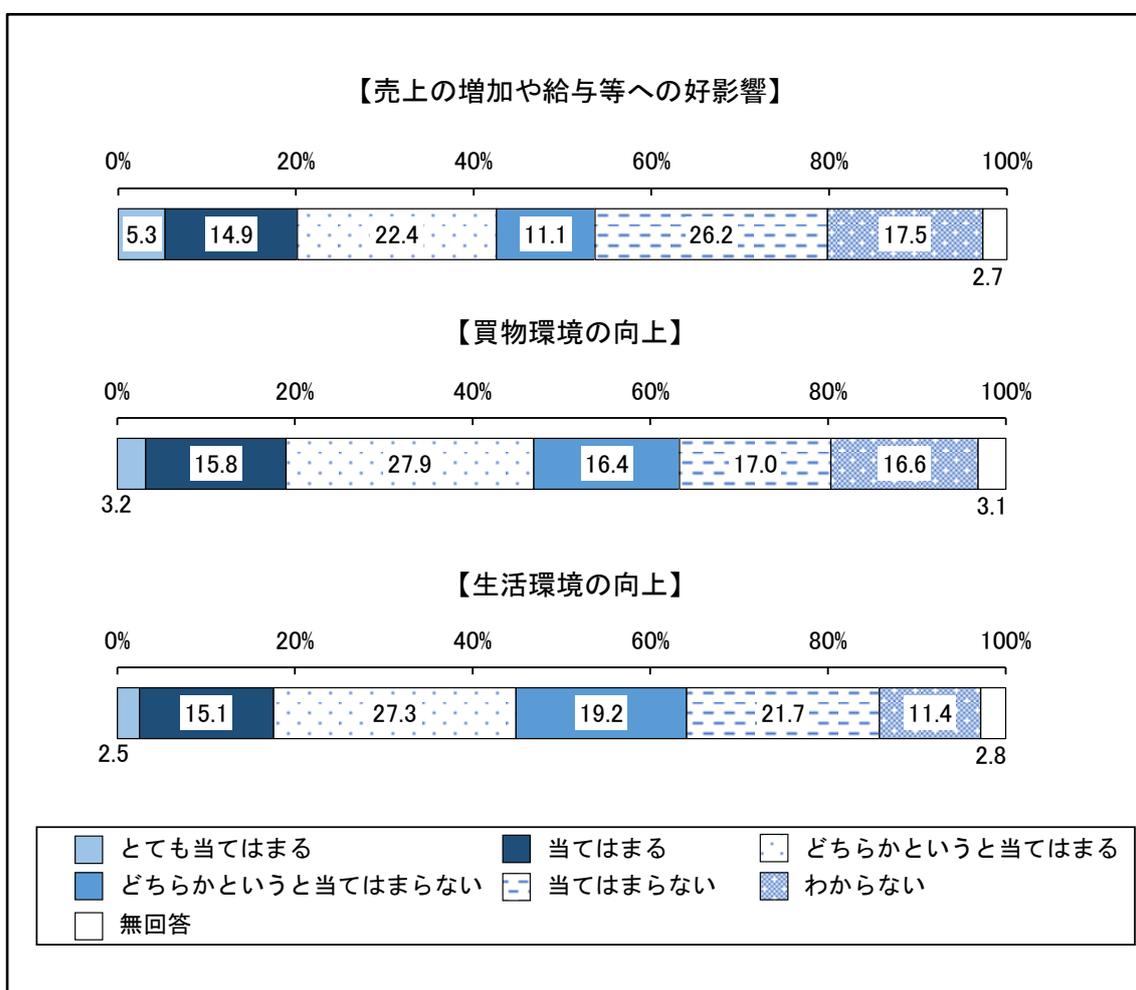
- 「市内を観光する頻度」については、半年に1回以上と回答した方の割合が44.9%（R4：36.6%）である一方、ほとんど観光をしない方の割合は22.6%（R4：23.0%）となった。
- 「実際に市内を観光し、満足をした方」の割合は58.8%（R4：63.7%）、不満を感じた方の割合は14.2%（R4：10.1%）となった。



(2) 観光の効果の実感について（問15）

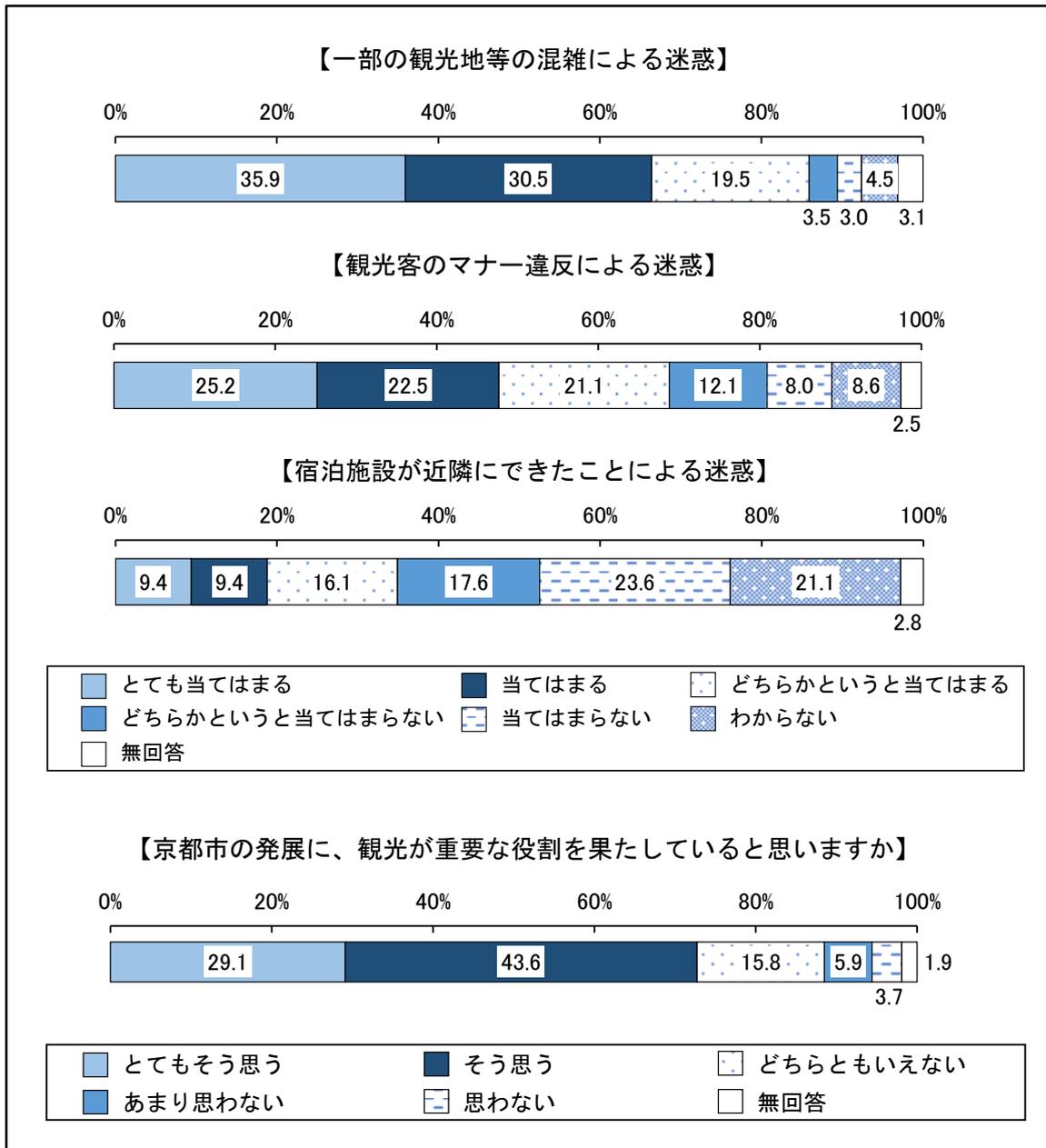
- 観光客が訪れることで、「売上の増加や給与等への好影響につながっていると感じた」と回答した方の割合は20.2%※（R4：4.3%）、
「買物環境の向上につながっていると感じた」と回答した方の割合は19.0%※（R4：13.1%）、
「生活環境の向上につながっていると感じた」と回答した方の割合は17.6%※（R4：14.6%）となった。

※ 令和5年調査から質問方法を一部変更（例：「影響があった」から「影響があると感じた」）しており、前回調査との単純比較はできない。



(3) 京都観光が市民にもたらす影響等について（問15、19）

- 「一部観光地やその周辺等が混雑して迷惑した」と回答した方の割合は66.4%（R4：60.4%）、「観光客のマナー違反によって迷惑した」と回答した方の割合は47.7%（R4：38.5%）、「宿泊施設が近隣にできたことに伴う良くない影響により迷惑した」と回答した方の割合は18.8%（R4：16.9%）となった。
- 他方、「京都市の発展に、観光が重要な役割を果たしている」と回答した方の割合は72.7%（R4：72.9%）となっている。



(4) 京都観光への推奨度について（問10、20）

- 「親類、友人、知人等に京都観光をおすすめしたい」と回答した方の割合は57.2%（R4：68.9%）、「京都市が観光で評価されることに誇りを感じる」と回答した方の割合は64.9%（R4：67.4%）となった。

